

南アフリカ 西ケープ州の洪水の影響がより明らかに

EUROFRUIT 2023年10月12日

業界団体は西ケープ州の果樹産地の活動が最近の洪水によりひどく混乱していることを確認

南アフリカ西ケープ州の果樹産地における洪水による実際の被害と混乱がようやく明らかになってきており、果樹業界団体のホートグロ(Hortgro)は、一定の地域の生産者及び果樹コミュニティを支援するため、西ケープ州政府と危機に関する協議を行っているとしている。

当初、業界のリーダー達は洪水の被害を軽視していたが、これは実際の評価を行うことが難しかったためでもある。

ホートグロは声明で「南アフリカの落葉果樹産業は、特にエルギン、グラボウ、ヴィーブーム、ヴィリアスドープの各地域(頭文字をとってEGVV地域)及びクラインカラーとフランシュフックの両地域の一部など主要産地において、最近の洪水の影響で動揺している」としている。

EGVV地域だけでも生産物とインフラの損害は4億~5億ランドであると推定されている。この地域は、南アフリカの主要なリンゴ、ナシ、核果類(モモ・スモモ等)産地の1つである。(1ランド=約8円)

ホートグロは、被害を受けた生産者とつながるために西ケープ州政府が携帯電話アプリを立ち上げたとしている。

同団体は、「グラボウ地域の26の生産者から収集された予備的なデータは、洪水被害が合計1億6千万ランドに達したことを示した。これには、エルギン、ヴィリアスドープ、ヴィーブームの各地域は含まれていない。インフラの損傷は、電力網、果樹園、防電ネット等の構造物、建物、機械、灌漑システムと関連設備、灌漑用水路に関して報告された。流された道路や橋についても同様である」と説明した。

9月末の長い週末(祝日による9月23~25日の3連休)の洪水が十分ではなかったかのように、先週の風雨はさらなる被害をもたらした。ホートグロは、「多くの農道や橋が完全に流された」と確認した。ホートグロのアントン・ラーベ事務局長は、表土と多くの果樹園が失われたと述べた。

EGVV地域の出荷シーズンが本格的に始まっているが、防除計画、受粉作業及び軽油などの重要な資材の供給が妨げられ混乱している。

ラーベ事務局長は、「非常に重要なことは、生産者が労働者を農場に連れて行くことができ、数週間後に収穫が始まるモモやスモモの生産者が果実を市場に届けることができる程度に、主要なアクセス道路と橋を修復することである。EGVV地域には、輸出市場向けのリンゴやナシで満杯の梱包施設も多数あり、港に運ぶ必要がある。灌漑用水路、送水管及びポンプの修理と交換は、出荷シーズンを乗り切るために重要である。電気と携帯電話はまだ完全には復旧しておらず、物流と支援活動をさらに難しくしている」と説明した。

EGVVのスポークスマンであるグラウディ・スコグ氏は、この地域の人道的ニーズは多大であり、コミュニティは食料と飲料水を必要としていると述べた。

ホートグロはすでに援助団体「ギフト・オブ・ザ・ギバーズ」に25万ランドを寄付した。ギフト・オブ・ザ・ギバーズは、それぞれの地域で食料パックやその他の緊急物資を配布する。ホートグロはまた、救援活動に協力するよう人々に訴えた。

執筆者: フレッド・マインチェス